

平成 30 年度「多職種連携等に関する研修」のお知らせ

～多職種連携協働の意義～

地域包括ケアシステムを構築するためには、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けられるよう医療、介護の関係機関等と多職種連携、協働し生活課題を抽出し、解決策を検討して総合的な支援で生活を支えていく事が求められます。

介護福祉士は利用者の身近で継続的な生活支援者の立場から、利用者やその家族の日頃の生活状況や状態の変化、それを踏まえた介護の実践内容を多職種に適切に伝え連携できる力が必要となります。

利用者、家族の希望についてチーム全員で理解し利用者が中心であると共通認識として、専門性を理解しながら介護福祉士の役割及び多職種連携、協働のあり方について学ぶことを目的に本研修を行います。

記

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 6 日 (水)
受付 9 : 0 0 ~ 9 : 3 0 講義 9 : 4 0 ~ 1 6 : 4 0
- 2 会 場 JA 長野県ビル 1 3 階 A (長野市北石堂町 1 1 7 7 番地 3 TEL026-236-3600)
- 3 講 師 宮島 渡氏
恵仁福祉協会常務理事 アザレアンさなだ総合施設長
日本社会事業大学専門職大学院特任教授
- 4 定 員 3 0 名 (定員になり次第締め切ります。)
締 切 平成 31 年 1 月 8 日 (火)迄
- 5 参加費 会員 3, 0 0 0 円 非会員 6, 0 0 0 円
- 6 対 象 介護福祉士
- 7 内 容
 - ・多職種連携を行うための介護福祉士の役割、専門性を再確認
 - ・多職種の理解、相手の専門性を引き出す
 - ・グループワークの進め方

公益社団法人長野県介護福祉士会

〒 3 8 0 - 0 9 2 8 長野市若里 7 - 1 - 7

TEL 0 2 6 - 2 2 3 - 6 6 7 0

FAX 0 2 6 - 2 2 3 - 6 6 7 9